

「のせでんハイキング」スケジュール

日程	コース
4 / 6 (木)	貴重な桜の野生種エドヒガンを観賞する 「黒川桜の森から日本一の里山コース」
4 / 15 (土)	身近な名所と里山をぶらり散策 「旧横山峠・九頭竜大明神・舎羅林山コース」
5 / 4 (祝)	【阪急電鉄とのコラボ企画】 日本初のトロリーバス路線跡を歩く 「石切山・満願寺・豆坂コース」

※全て「かわにし健幸マイレージ」の対象。集合場所やコース内容など、詳しくは電話で下記のせでんハイキング担当かホームページへ。



「のせでんハイキング」スタート地点の目印として紹介している、能勢電鉄「多田」駅前にある石の道標。多田神社への参拝者を導いてきたことがうかがえる。



特集「〇〇を感じる」

まち歩き×ハイキング



まち歩きから、人と人とのつながりへ
沿線の魅力を感じる



能勢電鉄株式会社
のせでんハイキング担当
奥野晶士さん

☎ (792) 7716
● <http://noseden.hankyu.co.jp/hiking/>



昭和3年に日本で最初に走った新花屋敷温泉土地(株)のトロリーバス(写真左:阪急電鉄提供)。満願寺の西南に開かれた温泉場や遊園地までの急坂を登り、軌道がなくても大量輸送ができる交通機関として無軌道電車が敷設されていた。当時と同様に急勾配の坂道からは、川西の市街を望むことができる(写真右)。



沿線価値の向上をめざし「のせでんハイキング」を企画・実施している、能勢電鉄(株)の奥野さん。その魅力と30年以上続けて実施している理由を聞きました。

「のせでんハイキング」を始めた当初は、20〜30歳を歩くハードな内容でした。今は、より多くの皆さんに楽しみながら参加していただけるようなコースを選定し、長年愛され続けていることに喜びと誇りを感じながら企画しています。

おすすめスポットはたくさんありますが、中でも一番は黒川地区の日本一の里山ですね。市街地からすぐに行ける日本の原風景。黒川地区を巡る妙見山ハイキングは2カ月に1度開催していて、何度も参加してくれる方が多いんですよ。のせでんハイキングリピーターのお客様は、僕

にとって家族のような存在です。参加者の中には次回のコースを下見して「草が邪魔な所は刈ったから」と連絡をくださる方や、当日に目印となる矢印をどう貼ったら分かりやすいかなど、アドバイスをくださる方もいらっしゃいます。

一人で参加した人同士が、帰りに友達になっっていることも多いです。ハイキングをきっかけに歩くことの楽しさを知って、普段からまち歩きをするようになれば健康にもつながります。これからも皆さんの笑顔が見られるよう続けていきます。

5月4日(祝)は阪急電鉄(株)とのコラボ企画ハイキング。日本初の無軌道電車、トロリーバスの路線跡を歩くコースです。「かわにし健幸マイレージ(※)」の対象事業にもなっていますので、ぜひ多くの皆さんに参加していただきたいと思います。

※「かわにし健幸マイレージ」とは…事前に登録した参加者が歩くことなどでポイントをため、地域への寄付や特産品などに交換できる市の制度。

何かに出会う、ワクワク感。

阪急電鉄と能勢電鉄、JRが縦横に走るまち川西市。南部から北部へ30分ほど電車で揺られると、妙見山からは日本一の里山といわれる黒川地区や市街地が遠く見渡せます。また、市内には清和源氏ゆかりの神社仏閣が点在し、弥生時代の大規模な環濠集落加茂遺跡が発見された南部ではその出土品などから当時をしのぶことができます。春の風を感じながら、ゆったりとまち歩きをしてみませんか。



ボランティアガイドの会オススの モデルコース

ガイドは無料。ただし、拝観・見学料や交通費が必要なコースは、ガイド分の費用を実費負担してください。申し込みは5人以上で、原則1カ月前までに社会教育・文化財課 ☎(740) 1244 へ。

①市内遺跡の資料が集結 文化財資料館で土器を見学

所要時間約4時間・約7千円



JR「川西池田」駅または、阪急・能勢電鉄「川西能勢口」駅＝勝福寺古墳＝栄根寺廃寺＝文化財資料館＝加茂遺跡＝鴨神社＝駅へ戻る

勝福寺古墳では、めったに見られない石室の見学ができます。また、文化財資料館では国指定史跡でもある加茂遺跡について、発掘された数々の土器や石器、精巧な模型などを見ながら解説します。

②多田神社から移された 仁王像が立つ山門は趣深い

所要時間約3時間・約3千円



阪急電鉄「雲雀丘花屋敷」駅＝（バス）＝満願寺＝最明寺滝＝阪急電鉄「山本」駅

特徴のある山門で、多田神社から移された仁王像が出迎えてくれる満願寺。春は桜、秋は紅葉が美しい境内の散策もおすすめ。春のお彼岸には秘仏千手観音菩薩像を拝観できます。

③平野湯があったところの 平野の歴史をガイドします

所要時間約2時間・約3千円



能勢電鉄「平野」駅＝三ツ矢塔・平野湯薬師庵＝多太神社＝多田神社＝能勢電鉄「多田」駅

江戸時代、摂津国で有馬・一庫と並び栄えた平野湯について、温泉場の様子などをパネルで紹介。三ツ矢サイダー発祥の地でもある平野の歴史を振り返りながら、周辺の史跡を巡ります。

④多田院から始まった歴史 荘厳な本殿、拝殿は必見

所要時間約3時間・約5千円



阪急電鉄「雲雀丘花屋敷」＝（バス）＝満願寺＝多田神社（西多田・湯山台を経て）＝能勢電鉄「多田」駅

清和源氏の祖、源満仲公により建立された寺「多田院」に始まる「多田神社」。国指定重要文化財である本殿、拝殿、随神門の荘厳さは必見です。

⑤ロケ地として話題沸騰の 郷土館がおもしろい

所要時間約3時間・約5千円



能勢電鉄「山下」駅＝（笹部の田園地帯を経て）＝平野神社＝郷土館＝慶積寺＝能勢電鉄「日生中央」駅

郷土館は建物の造りが魅力の一つ。国の登録文化財で製錬のまちとして栄えた歴史を今に伝える旧平安邸や、ロケ地として人気の旧平賀邸などがおすすめです。

⑥エドヒガンの群生地 黒川は春がおすすめ

所要時間約3時間・約6千円



能勢電鉄「妙見口」駅＝黒川小学校（公民館）＝徳林寺＝吉川八幡神社＝駅へ戻る

希少なエドヒガンの群生地が点在する黒川地区。明治37年に建てられた小学校が、当時と同じたたずまいで出迎えてくれます。桜の季節に訪れたいコースです。



発 足して11年を迎える市文化財ボランティアガイドの会。養成講座を受講した有志の皆さんが、ボランティアガイドとして市内の史跡を案内しています。現在、会員は44人。入会9年目という会長の大北さんに、市内の史跡などを巡るまち歩きについて聞きました。

私は約40年前に川西に移り住みました。転勤もありましたが、仕事をしていた間は市内のことを全く知らなかったんです。地域の歴史を学ぶ機会もありませんでしたから、川西には特別な歴史はないと思っていました。ところが、退職して時間ができ、文化財ボランティア養成講座に参加したら、実際は大違い。清和源氏発祥の地であることや加茂遺跡があることを知って「川西って、そんな歴史のある重要な所やっつたんや」と驚き、誇らしい気持ちになりました。

私みたいな人、多いと思いますよ。だから、ガイドをする機会があればそのことを伝えて、川西ってすごい歴史があるんだと少しでも分かってもいい、自分が住んでいるまちをもっと好きになってほしいと思ってんです。依頼者の希望をコースに取り入れるなど、文化財ハイキングのファンになってもらえるよう、メンバーと一緒に頑張っています。

実は今、ガイドの依頼は市外の人が多いです。こんなに興味深い史跡がたくさんあるのに、住んでいる所のことを知らないなんてもったいない。近所のことを知ると、歩くのが楽しくなると思いますよ。

個性豊かなボランティアガイドが、それぞれ手作りの写真パネルや年表を使って案内しています。春は歩くのにちょうどいい季節ですし、私たちと一緒に歩く「史跡めぐり」はおすすめです。

「すごい歴史があるんだ」と
感じる史跡めぐりはおもしろい

歴史を感じる



市文化財
ボランティアガイドの会
会長 大北次郎さん
☎(740) 1244
● <https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/kyoiku/021468.html>

季節を感じる

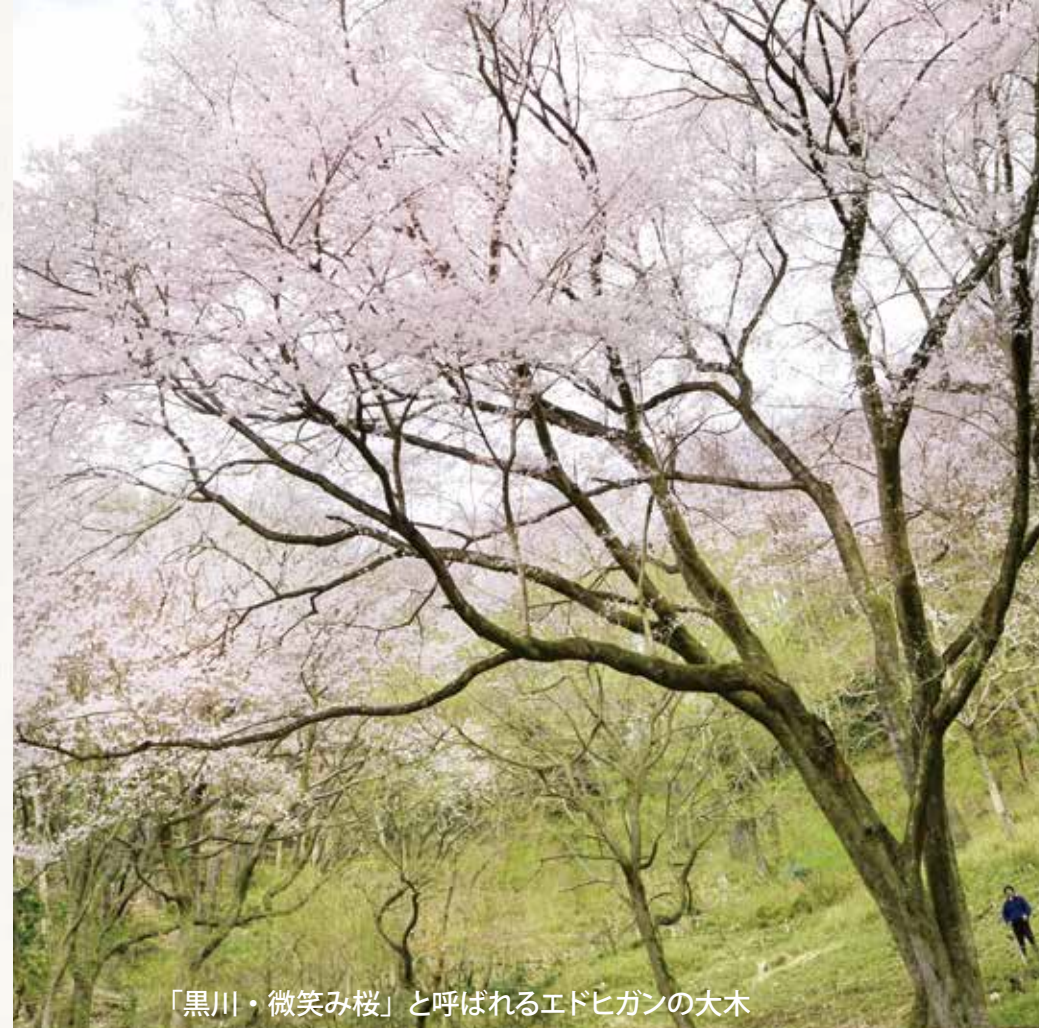
山々をピンク色に染める桜
大切に守り、伝えたいものがある



水明台の「溪の桜」



妙見の森ケーブル



「黒川・微笑み桜」と呼ばれるエドヒガンの大木

里山の桜スポットをまとめて紹介

黒川地区周辺の桜スポットを集めた「春里 MAP」を作成し、公民館や能勢電鉄の各駅などで配布しています。桜色の山々を見に出掛けてみませんか。詳しくは文化・観光・スポーツ課 ☎(740)1161 へ。



八坂神社前の公園



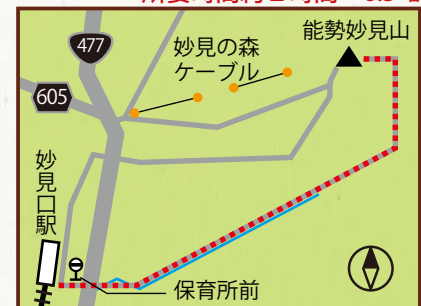
猪名川沿いの桜並木

“歩く”を楽しむおすすめコース 歩々と川西めぐり

市内の各地域を巡る、おすすめハイキングコースをご案内。下記3コースの他、家族で楽しめる初心者向けコースや距離が長く傾斜もある上級者向けコースなどもあります。詳しくは文化・観光・スポーツ課 ☎(740)1161 へ。

①初谷溪谷コース

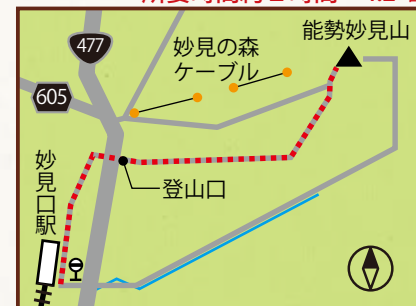
所要時間約2時間・6.5km



能勢電鉄「妙見口」駅＝初谷の田園風景を抜けて登山口へ＝溪谷に沿って自然道が続く＝能勢妙見山

②妙見稜線コース

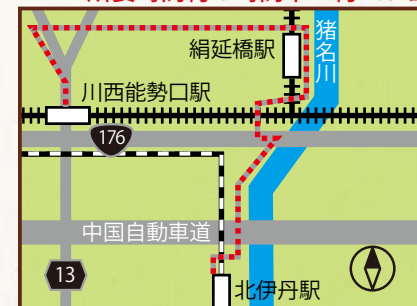
所要時間約2時間・4.2km



能勢電鉄「妙見口」駅＝国道477号線を渡り山道へ＝中腹で黒川の里山が一望できる＝能勢妙見山

③猪名川沿いコース

所要時間約1時間半・約7.6km



JR「北伊丹」駅＝ドラゴンランド＝小戸神社＝勝福寺＝阪急・能勢電鉄「川西能勢口」駅

※市ホームページ動画サイト「見て!魅て!かわにし」でも、「歩々と川西めぐり 清和源氏ゆかりの地をめぐる旅」(前編・後編)を紹介しています。(右の2次元コードからアクセス)



県の絶滅危惧種に指定されているエドヒガンの群生地「黒川・桜の森」。国道から見下ろすと、吉野の桜を思わせるほどの景観ですが、木炭の需要が減り、木が切られなくなると50年以上経っていたこの場所は、足を踏み入れることができないほど荒れていました。背丈3mのササやヒサカキの密生に視界を遮られる中、エドヒガンを探し救出するための作業に取り掛かりました。

里山は人の手入れが途絶えると暗く荒れた森に戻ってしまいます。この里山の良さを知り、守りたいと思う人が続いてくれたらと思います。

長年、人が手を入れなくなっていた黒川地区の里山で、平成18年から整備・保全活動を続けている森林ボランティア「菊炭友の会」の皆さん。会の発足当初から中心となって取り組む大門さんに、里山への思いを聞きました。

加と、資材の調達資金として行政や民間の助成金、炭・薪による収入がなければ到底やり遂げることはできませんでした。活動の主役は定年退職者です。山仕事は未経験の人ばかりですが作業をするうちに各人の経験と持ち味が発揮されるようになり、チームワークも整っていききました。

森林ボランティア
菊炭友の会
大門宏さん

☎ 090(5257)3208

http://kikuzumi.exblog.jp/